

店づくりに知恵絞る 17 海老名SAを追う

東名高速・海老名サービスエリアの各店は、個性的な店づくりや商品の提供に知恵を絞る。いかに人を呼び込むか。年末年始を迎える売り場を追った。

山下公園でスケート 15



母子避難所整備3割止まり 2

障害年金、医師の判定放棄
経済・文化2025年を回顧 7・12

選挙 県勢選手 箱根路へ 4

総合	2・3	文化	12
スポーツ	4・5	エンタメ	13
教育・NIE	10	地域	14・15
TV解説・小説	11	社会	16・17

「少数派の人権擁護こそ報道のど真ん中」

刻む
民主主義の要諦は少数意見の尊重。差別の先に戦争が待つ。声を大にしよう。「少数派の人権擁護こそ報道のど真ん中だ」

茶業者が製茶技術を競う審査会「国産紅茶グランプリ（愛知県尾張旭市観光協会主催）の2部門で、秦野たかなし茶園」の和紅茶が金賞を受賞した。コンテ出品するようになって5年目の快挙は、昨年の台風近による被災からの復興を多くの支援者らに示すメッセージでもあった。茶園の4代目高梨晃さん(37)は「災けずお茶を作って、こういう形で立ち直れることをうれしかった」と強調した。(浅川 将道)

秦野「たかなし茶園」 査会 2部門で受賞

昨夏の台風10号接近による大雨の影響で丹沢山塊の丘陵地帯で育てる約3分の1の茶園の一部が流出。国からの激甚災害指定を受けて復旧工事は行われたが、新たに茶木を植えて収穫するまでには約7年を要するといわれるなど被害は深刻だった。

市民有志らの支援によって今年春から始まったクラウドファンディング(CFD)には334人から目標額の倍以上となる498万円の善意が寄せられた。「普段利用されない方からも寄付があった。多くのの人に見ていただいていた



国産紅茶グランプリ2025「2部門で金賞」した和紅茶。台風10号接近による被災からの復興を目指し、農園で思いを語る晃さん=4日、秦野市菩提

台風被災復興への金賞

審査会には3回目の挑戦になるが、被災直後の昨年は商品化されていなかった紅茶を含む「チャレンジ部門」で銀賞を受賞。今年は「チャレンジ部門」と「商品化部門」の2部門で金賞を受賞。今年も「チャレンジ部門」で銀賞を受賞。今年も「チャレンジ部門」で銀賞を受賞。今年も「チャレンジ部門」で銀賞を受賞。

審査会には3回目の挑戦になるが、被災直後の昨年は商品化されていなかった紅茶を含む「チャレンジ部門」で銀賞を受賞。今年も「チャレンジ部門」で銀賞を受賞。今年も「チャレンジ部門」で銀賞を受賞。今年も「チャレンジ部門」で銀賞を受賞。



減災
地震は7月30日午前8時25分ごろに起きた。マグニチュード(M)8.8の巨大地震だったことから、気象庁は北海道から和歌山県にかけての太平洋岸に津波警報を発表し、相模湾・三浦半島(横須賀市・湯河原町)も対象になった。

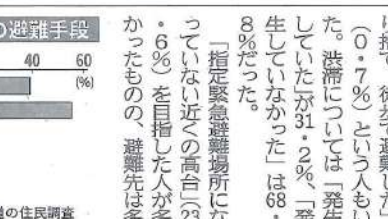


津波警報の発表後、海岸から内陸へ向かう車で避難する。7月30日午前、藤沢市

カムチャツカ津波

ロシア・カムチャツカ半島付近で7月に起きた巨大地震の津波警報を受け、神奈川県、宮城県と北海道で避難した人の半数以上が車を利用していたことが、内閣府の調査で分かった。車による避難は東日本大震災の際に渋滞や踏切の遮断などによる逃げ遅れを招いた教訓があり、津波発生時は徒歩での避難が原則とされている。専門家は「車で避難を許可する場合は、地域の事情に応じたルールを設けるべき」と指摘する。(渡辺 渉)

調査は10月、津波警報を受けて避難指示が発令された地域のうち、対象人数が多かった神奈川県、静岡県、宮城県、北海道の4道県の津波浸水想定区域にいた住民にオンラインで実施。計4300人が回答し、道県別では神奈川の1499人が多かった。



※神奈川、静岡、宮城、北海道の住民調査

車避難が最多 渋滞も

内閣府 神奈川など4道県調査

「津波に備えて避難した」と回答した1012人に複数回答で避難の手段を尋ねたところ、「車」(55.3%)が最も多かった。「徒歩」(39.1%)が続ぎ、「オートバイ・自転車」(4.2%)、「車を途中で乗り捨て、徒歩で避難した」(0.7%)という人もいた。渋滞については「発生していたが31.2%」「発生していなかった」は68.8%だった。

指定緊急避難場所となっていない近郊の高台(23.6%)を指定した人が多かったものの、避難先は多岐にわたった。

政府は、国家安全保障戦略など安保関連3文書の改定に向け、来夏に骨子案を策定する方向で調整に入っている。8月末に予定する2027年度予算の概算要求に反映させ、防衛費増額を図る狙いがある。米国など関係国への説明にも活用し、日本の防衛力強化方針に理解を得たい考えだ。3文書改定に関する有識者会議を早くすれば来春に設置することも検討する。複数の関係者が28日、明らかにした。

安部3文書 来夏骨子案
防衛費増、概算要求へ反映
政府調整

安部3文書 来夏骨子案

防衛費増、概算要求へ反映

政府調整

政府は、国家安全保障戦略など安保関連3文書の改定に向け、来夏に骨子案を策定する方向で調整に入っている。8月末に予定する2027年度予算の概算要求に反映させ、防衛費増額を図る狙いがある。米国など関係国への説明にも活用し、日本の防衛力強化方針に理解を得たい考えだ。3文書改定に関する有識者会議を早くすれば来春に設置することも検討する。複数の関係者が28日、明らかにした。

安部3文書 来夏骨子案
防衛費増、概算要求へ反映
政府調整